

PLACEMAKING

プレイスメイキング ミニシンポジウム

2015年12月15日(火)

第一部 12:50~14:20・第二部 15:00~18:00

会場:千葉大学松戸キャンパス

D棟112教室・戸定ヶ丘ホール

アクセス <http://www.h.chiba-u.jp/access.html>

最近、プレイスメイキングが注目されています。プレイスメイキングとは人が楽しく、幸せに過ごす人のつながりを築く公的な空間づくり。今、空き地、空き屋を活用したコミュニティカフェ等の民地を公的に開放する場づくりや、管理が強すぎる公共空間をゲリラ的にも、またイベント的にも、人々が都市の生活を楽しむ生き生きとした場へ変換する取組みがいろいろ見られるようになりました。ここではそういう傾向から、プレイスメイキングの意味をとらえ直し、今後の展開を展望します。

Topics!!

● カレーキャラバン (木村亜維子)



全国各地のまちへ出かけ、駐車場や店先などで、カレーをつくる。道行く人を巻き込みながら、できたカレーを地域の人たちと共に食べる即興的な場づくり。

● やぼろじ (すがいまゆみ)



10年以上空き家だった古民家を畑の開墾などの活動しながら、地主・職人・学生・子どもたちの協力を得てメンバー自ら手入れをして甦らせた地域の拠点。

● Bradner garden park (ジェフ・ハウ)



市の所有地を市民がイニシアチブをとり、複数のNPOなどの共同パートナーシップによってつくられたコミュニティガーデン。ワシントン大学の学生も加わりデザイン&ビルドによる東屋がつけられた。

● かやぶき屋根ゴンジロウ (岡部明子)



築100年超の茅葺き古民家の屋根を葺き替えたり、土間を蘇らせたりと、継続的に建物を補修する活動を学生や地元の人たちと続け、現在では地域の核となる空間として活用されるようになった。

第一部：講演会 【D棟112教室】

12:50~14:20

「ナウ アーバニズム DIY プレイスメイキング Now Urbanism, DIY Placemaking」

Jeff Hou ジェフ・ハウ (ワシントン大学教授ランドスケープ学科長)

※第一部は園芸学部の「都市計画学」授業を兼ねて公開



第二部：シンポジウム 【戸定ヶ丘ホール】

15:00~18:00

「ひらく場づくり：日本におけるプレイスメイキングの展開」

木村 亜維子 (千葉大学大学院博士後期課程)

「多様性を認めあう地域の場づくり」

すがい まゆみ (野の暮らし主宰・くにたち市民協働型農園の会 副会長)

「プロセスとしてのパブリックスペースのプレイスメイキング」

Jeff Hou ジェフ・ハウ (ワシントン大学教授ランドスケープ学科長)

「〈公共空間〉にする：

縮小する日本と成長するアジアでのプロジェクト」

岡部 明子 (東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)

コーディネーター 木下 勇 (千葉大学教授) 霜田 亮祐 (千葉大学准教授)

通訳 牛木 力 (UC Berkeley, Y-Plan Assistant Program manager)

Website: <http://www.applekin.server-shared.com/Placemaking/SympoPlacemaking2015.html>